

# 図書館インフォメーション

新型コロナウイルス感染予防の為、中止や延期になっていた  
「わくわくお話し会」や「リトミック教室」を再開しました。  
保護者の方、どうぞお子様を連れて図書館に遊びに来てください。

10月1日開催

## わくわくおはなし会

次回12月17日クリスマス会開催!  
あの大物先生が…!?「なあんだー?」

図書館ボランティア「ほたるの会」による、わくわくお話し会を開催しました。



人形劇や絵本を使った読み聞かせを披露し、参加した子どもたちは目を輝かせて楽しんでいました。最後には、折り紙を使用して作ったプレゼントが用意され、子ども達の笑顔溢れる楽しいお話し会になりました。



10月5日開催

## リトミック教室 毎月第1水曜日開催!

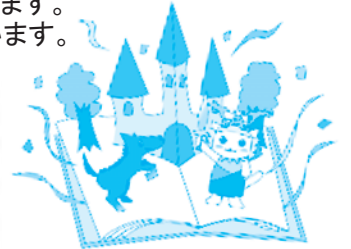


リトミック教室は、参加した子ども達が音楽やリズムを通して楽しく保護者とふれ合うひと時です。  
久しぶりの教室では、保護者と体操をしたり、踊ったり、先生による読み聞かせに夢中になるなど、充実した時間になりました。



## 館内の視聴覚コーナーが見やすくなりました。

古い作品から新しい作品まで、様々なCDやDVDを取り揃えています。  
図書の貸し出しと共に、視聴覚コーナーのご利用をお待ちしています。



## 12月の図書館の予定

- ・乳幼児リトミック教室  
12月14日(水)(10:30~11:30)
- ・乳幼児おはなし会 のんたんの部屋  
12月7・21日(水)(10:45~11:30)

※各種催し物は、新型コロナウイルス感染予防のため中止になる場合があります。なお、中止の場合はFM告知放送でお知らせします。

町立図書館では、年代別のおすすめ本の紹介などの情報を図書館だよりで配信しています。図書館だよりのバックナンバーは右のQRコードを読み取るとご覧いただけます。



## 【美術館（企画展の紹介）】

没後60年 近藤浩一路の世界  
— 油彩画から水墨画へ —



期間 12月10日(土)~1月22日(日)  
入場料 3000円  
◆午前9時半~午後5時(入場午後4時半まで)  
◆休館日・毎週月曜・祝日の翌日・年末年始  
◇その他、詳細はチラシをご覧ください!

## 今月の新刊情報

### ハヤブサ消防団

池井戸 潤 著  
集英社



亡き父の故郷である「ハヤブサ地区」に移り住んだミステリ作家の三馬太郎。地元の人々の誘いで消防団入りした太郎を、連続放火事件が待ち受けていた。のどかな集落に隠された真実とは。

### ええじゃないか

谷津 矢車 著  
中央公論新社



幕末に起こった史上最大の乱痴気騒ぎ「ええじゃないか」。三河国に降った数枚の御札が、やくざ者の晋八、御庭番の市之丞、そしてこの国の運命を変える！

### 新！店長がバカすぎて

早見 和真 著  
角川春樹事務所



山本猛元店長が、3年ぶりに吉祥寺本店に店長として復帰した。張り切る店長だが、相変わらず人を苛立たせる天才だ。しかし京子は心の中で「お帰りなさい」とつぶやく。

### 若葉荘の暮らし

畑野 智美 著  
小学館



収入が激減したミチルは、40歳以上独身女性限定のシェアハウスに転居する。訳ありな女性たちが迷いながらもたくましく生きる様を見て、ミチルは自分で幸せを叶える術を身につける。

### 映画と旅する365日 物語のある風景

パイインターナショナル



「アメリカ」「マイ・インターン」「タイタニック」…。国内最大級の映画レビューサービス「Filmmarks (フィルマークス)」が選定した、365日それぞれの日に合わせた映画とその舞台となった美しい風景写真を紹介する。

### 100歳の幸せなひとり暮らし 穏やかな心と健康を保つ 100のヒント

鮫島 純子 著  
光文社



物騒なテレビは観ない、ツイてないことは「チャンス」、手作りを楽しむ、年を考えない、死を恐れない。渋沢栄一の孫が、年をとるほど明るく元気になる生き方を伝える。

### 瓢箪から人生

夏井 いつき 著  
小学館



師匠となる黒田杏子との出会いや父親の思い出、夢枕獏との意外な交流など。夏井いつきが、これまでの人生で出会った忘れ得ぬ人々を綴った全45編のエッセイ。

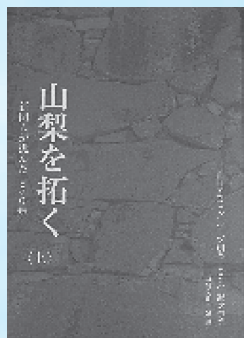
### 語学の天才まで1億光年

高野 秀行 著  
集英社インターナショナル



インドで身ぐるみ剥がされ英語が上達、麻薬王のアジトでビルマ語学習。学んだ言語は25以上。辺境ノンフィクション作家の超ド級語学体験記。語学上達のヒントも満載。

### 地域資料の紹介



### 山梨YBSグループ創業150年記念事業 山梨文化会館（編） 『山梨を拓く』新聞人が挑んだ150年《上》

山梨YBSグループは、令和4年創業150年を迎えたことにより、山梨におけるメディア史の再検討、山梨という地の再認識を主眼に、先人たちの歩みをたどった記念刊行史が出版されました。

本書第2部では、野口英夫・第1章「同人社と山梨—蒙軒学舎が繋いだ縁」において、近藤喜則について町の研究第一人者である渡辺修孝氏の紹介と共に詳しく同人社との人的交流が記されています。ぜひ、ご覧ください。